

「認プロ・NGSD合同シンポジウム」を開催

2016年12月18日

12月18日（日）、ANAクラウンプラザホテル金沢において、『遺伝医療と認知症』をメインテーマに「北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）」「難病克服！次世代スーパードクターの育成（NGSDプロジェクト）」の合同シンポジウムを開催しました。

シンポジウムは、山崎光悦 金沢大学長の開会挨拶に始まり、認プロプロジェクトリーダーの金沢大学山田正仁教授より認プロプロジェクトの紹介、NGSD事業統括の信州大学 福嶋義光教授よりNGSDプロジェクトの紹介がありました。引き続き、セッションⅠでは「遺伝子医療の新展開」をテーマとして、古庄知己先生、難波栄二先生、斎藤加代子先生、また、セッションⅡでは「認知症の遺伝的側面」のテーマで池内健先生、森啓先生、井上治久先生から、遺伝子医療、認知症医療に関する最先端の研究成果についてご講演いただきました。

シンポジウムには、医師や研究者をはじめメディカルスタッフ、学生なども含め約90名の参加がありました。講演中は熱心に聞き入りメモをとる姿も数多く見受けられ、質疑応答では活発に意見交換がありました。

このシンポジウムは認知症医療、遺伝子医療に携わる者にとって大変有意義な、また、両プロジェクトの交流を深めるまたとない機会となりました。



開会挨拶：山崎 光悦 金沢大学



プロジェクト紹介：認プロ プロジェクトリーダー 山田 正仁 教授



プロジェクト紹介：NGSD 事業統括 福嶋 義光 教授



信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター 副センター長・准教授 古庄 知己先生



鳥取大学生命機能研究支援センター長・教授 難波 栄二先生



東京女子医科大学附属遺伝子医療センター所長・教授 斎藤 加代子先生



新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター・教授 池内 健先生



大阪市立大学大学院医学研究科・特任教授／医療法人崇徳会 田宮病院・顧問 森 啓 先生



京都大学 iPS 細胞研究所・教授 井上 治久



閉会の挨拶：山本 博 金沢大学理事（国際・附属病院・同窓会担当）



会場内の様子